

第12節 へき地医療

(現状及び課題)

(無医地区等の状況)

- 平成 26 年 10 月末現在の無医地区(注 1)は 38 地区で、平成 21 年調査時点より 2 地区減少 (3 増 5 減) しましたが、その人口は 7,388 人から 7,839 人に増加しており、全国で 3 番目に多くなっています。準無医地区は、5 地区増えて 9 地区となっています。
- 無歯科医地区は 49 地区で、平成 21 年度調査時点と同数 (5 増、5 減) ですが、その人口は 12,693 人から 13,306 人に増加しています。準無歯科医地区は 4 地区増えて 6 地区となっています。
- 無医地区及び無歯科医地区の増加原因は、定期交通機関が減少したことなどから、容易に医療機関を利用できなくなった地区に該当することになったものです。また、減少原因は、地区の人口が 50 人未満に減少したことによるものです。

そのような状況の中「どこでも適切な医療を受けられる体制の整備」は重要な課題となっています。

- (注 1) 無医地区とは、原則として医療機関のない地域で、当該地区の中心的な場所を起点として、おおむね半径 4 kmの区域内に 50 人以上が居住している地区であって、かつ容易に医療機関を利用することができない地区をいう。

(へき地医療に従事する医師の状況)

- 本県における平成 28 年 12 月時点の医療施設従事医師数は 3,115 人で、人口 10 万人あたりで見ると 268.5 人となり、全国平均 240.1 人を上回っているものの、大分市・別府市への集中率が 55.6 %となるなど、地域偏在が顕著となっています。特に近年は、地域医療を支える医師や小児科・産婦人科などの特定診療科の医師不足が深刻となっています。
- 平成 29 年度は、自治医科大学卒業医師をへき地診療所 (姫島診療所、丹賀診療所、槻木診療所) に 4 名、へき地医療拠点病院 (豊後大野市民病院、国東市民病院、杵築市立山香病院、中津市民病院) に 12 名の計 16 名を派遣していますが、平成 30 年度以降は派遣可能人数が減少する見込みとなっています。
- 大分大学と連携して医学部入学定員に県内出身者枠 (地域枠) を設定し、県が地域枠入学者に対し、卒業後の一定期間、へき地医療に従事した場合に返還を免除する修学資金を貸与することにより、将来、地域医療を担う医学生の確保を図っています。平成 29 年度は、臨床研修を修了した 12 名のうち、3 名がへき地医療拠点病院で勤務しています。
- 勤務医師の負担軽減やキャリア形成への支援などにより、地域医療に対する医師のスキルアップや勤務環境の整備を図る必要があります。
- 将来の本県医療を担う医学生や医学部進学を目指す学生に対して、地域医療への貢献意欲をサポートするための取組を行うことが必要です。

(へき地診療所の状況)

- 県内には公立へき地診療所が 16 箇所、民間が開設するへき地診療所が 16 箇所あり、へき地での診療を担っているほか、研修医の受入れや医学生の地域医療実習等を実施していますが、勤務する医師の高齢化が進んでおり、医師の安定・継続的な確保が課題となっています。

(へき地医療拠点病院の状況)

- 県内には 20 箇所のへき地医療拠点病院があり、大分県へき地医療支援機構の調整のもと、へき地診療所に対する代診医等派遣や無医地区等への巡回診療などの、へき地医療支援活動を行っています。平成 28 年度は、巡回診療を 16 地区に対して 340 回、代診医派遣をへき地診療所 8 箇所に対して 77 回実施しています。

前回計画策定時からへき地医療拠点病院が 3 箇所増加したことにより、へき地診療所への代診医等派遣についての支援体制は充実しつつありますが、多くのへき地医療拠点病院が医師不足の状況にあり、巡回診療や代診医等派遣のへき地医療活動の実績が少ない病院があります。診療支援機能の確保が課題となっています。

(へき地医療支援機構の状況)

- へき地医療支援機構は、大分県福祉保健部医療政策課内に設置されて、総合的な診療支援事業の企画調整、就職の紹介斡旋（ドクターバンクおおいた）、へき地診療所への代診医派遣調整等の事業を実施していますが、厚生労働省が定めるへき地保健医療対策等実施要綱において配置することとなっている専任医師が不在となっており、へき地医療支援機構の充実や地域医療支援センター(注 2)との連携強化が求められています。

(注 2) 医療法第 30 条の 25 に基づき、都道府県が責任を持って医師の地域偏在の解消に取り組むコントロールタワーとして、都道府県庁や大学病院等に設置されるもの。本県では平成 23 年 4 月から大分大学医学部に委託して運営している。

(患者の輸送体制の状況)

- 患者輸送体制の整備や県、市町村、大学、医療機関等の連携による効果的で効率的な医療提供体制の構築が必要です。

(へき地における歯科医師や看護職員の状況)

- 歯科医師や歯科衛生士、看護師では地域偏在がみられ、更に、訪問歯科診療や訪問看護などの在宅分野での役割が期待されていることから、人材確保が急務の課題となっています。

(今後の施策)

1 へき地における診療機能の充実

(1) へき地診療所に対する支援

①診療機能等の充実

地域の医療サービスを維持・継続していくため、引き続き、経営が厳しいへき地診療所の運営に対する財政的支援や施設・設備の整備を図ります。

②医師確保に対する支援

勤務する医師が、満足して勤務をすることができる生活環境や、休暇、研修日の代診医確保など、勤務環境を整備するとともに、市町村と連携して常勤医師の確保に努めます。

2 へき地の診療を支援する医療機能の充実

(1) へき地医療拠点病院に対する支援策

①代診医派遣・巡回診療実施等の機能強化

へき地診療所との連携を強化して、代診医の派遣や巡回診療の効果的な実施に努めます。

また、医療機能を維持・継続していくため、施設・設備の整備を図ります

②医師確保に対する支援

診療支援機能の向上を図るため、医師不足の病院に対し自治医科大学卒業医師を派遣するとともに、地域医療支援センターと連携・調整して、大分大学医学部地域卒卒業医師の配置を行います。また、勤務する医師が、診療技術修得のため研修する経費に助成し、キャリア形成上の不安解消と魅力ある勤務環境の整備を図るとともに、へき地医療拠点病院等で後期研修を行う医師に対する研修資金貸与制度などにより医師確保を支援します。

3 行政機関・大学等によるへき地医療の支援

(1) へき地医療支援機構・地域医療支援センターの充実強化

へき地医療支援機構が総合的な診療支援事業の企画・調整等の役割を果たせるよう機能や体制の見直しを行うとともに、へき地医療対策の各種事業を円滑かつ効果的に実施します。また、地域医療支援センターは、地域医療を担う医師のキャリア形成支援等を行い、医師のスキルアップ等を図りながら、医師の育成・県内定着を推進していきます。

今後は、へき地医療支援機構と地域医療支援センターがより綿密な連携を図り、へき地の医療体制について、総合的な企画・調整を行うとともに、今後増加する大分大学医学部地域卒卒業医師をへき地医療拠点病院等へ適正に配置できるよう調整します。また、大分大学、県立病院、市町村、へき地医療拠点病院等と連携し、地域医療の安定的な確保を図ります。

(2) 卒前教育過程におけるへき地医療への動機付け

医療に貢献することを目指している学生及びへき地医療に興味がある方々を対象として、地域医療の現場で活躍している医師等医療従事者から、直接、地域医療の現状や医師という職業への理解を深める機会を提供するとともに、体験研修や研修会などを通じて、広くへき地医療のやりがいや魅力をPRする活動を行い、地域医療を支える志の醸成を図ります。

また、県、市町村、大学、医療機関等が連携して、自治医科大学や大分大学医学部地域卒の学生が、地域医療に対する意欲を維持できるよう、積極的に当該学生とコミュニケーションを図る場や、地域医療やへき地医療の現場を体験し理解する機会を設けます。

(3) 研修機会の確保などキャリア形成の促進

派遣医師の技術向上は、地域医療の維持・向上のために必須のものであることから、勤務先医療機関等における研修機会の確保などにより、総合診療能力の向上に加え、専門性も有することができるよう、キャリア形成支援に努めます。

(4) へき地保健医療対策に関する協議会での協議

へき地保健医療対策の推進とへき地保健医療体制の整備促進を図るため、へき地医療対策協議会において意見を聞き、その意見を十分に踏まえつつ協議を行います。

巡回診療や代診医派遣等のへき地医療活動の実施回数が少ないへき地医療拠点病院については、その取組が向上されるようへき地医療対策協議会の中でその在り方等について検討を行います。

(5) ドクターヘリ等の活用

防災ヘリ「とよかぜ」及び福岡県ドクターヘリに加え、大分大学医学部附属病院を基地病院とするドクターヘリにより、救急搬送体制の充実を図ります。

(6) へき地等の歯科診療体制の充実

在宅歯科診療に対応できる歯科医師の確保に努めるとともに、在宅歯科診療機材の整備を支援します。また、歯科医師と市町村、地域の保健医療福祉の関係者等との連携を図り、地域の歯科保健医療提供体制の充実に努めます。

(7) へき地等の医療機関に従事する看護職員の確保

看護職員に対する離職防止対策やワークライフバランスに配慮した職場環境づくり、再就業や資質向上のための研修などを支援します。また、看護師数には地域偏在がみられるため、届出制度を活用したナースセンターによる復職支援や、養成機関と求職施設との連携を図りながら、准看護師の進学促進や地域の看護ネットワークによる確保・定着対策に取り組めます。

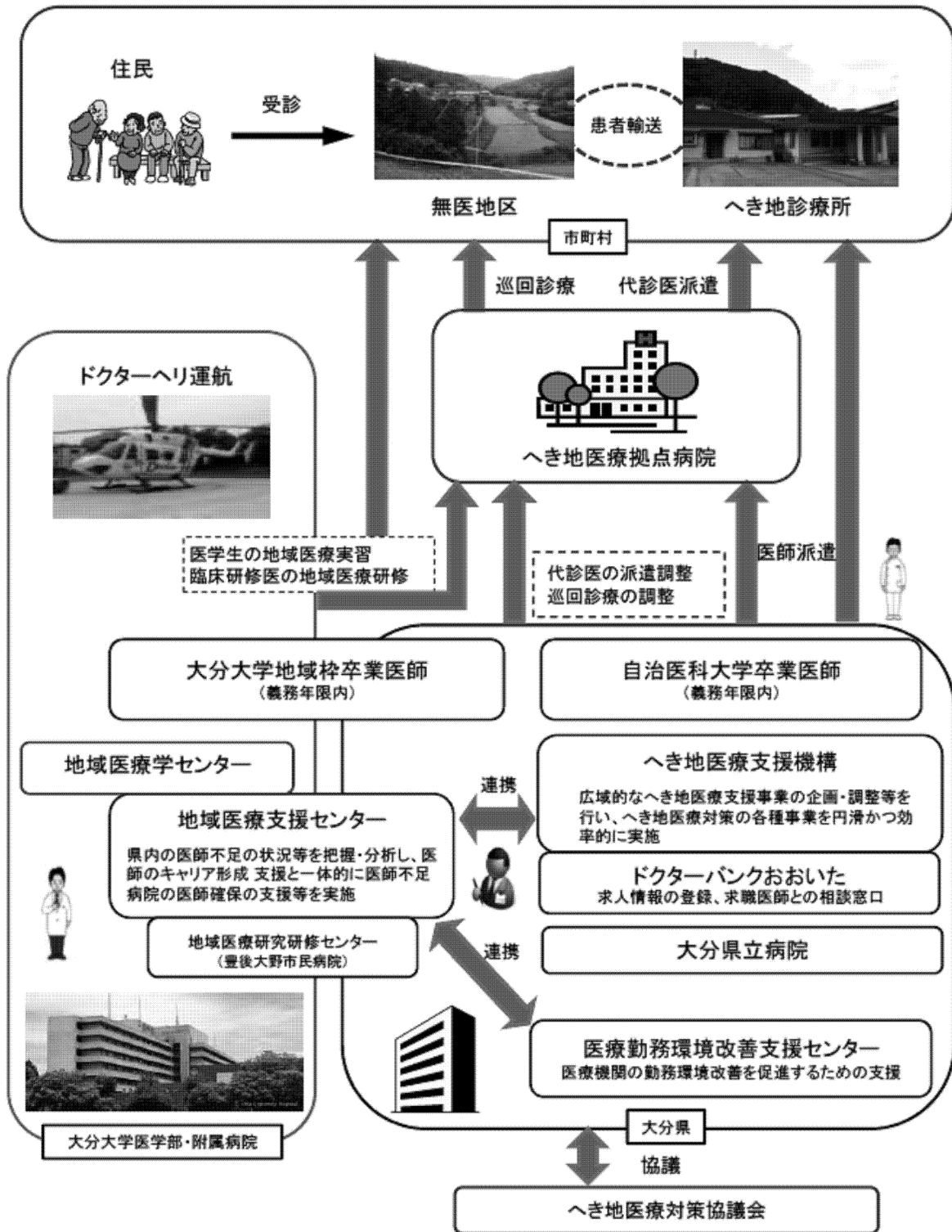
(目 標)

項 目	現 状	目 標 (平成 35(2023)年度)
自治医科大学・大分大学地域 卒卒業医師の計画的配置 (人)	19 (H29 年度)	54
公立へき地診療所からの 医師 (代診医含む) 派遣要請 に対応した割合 (%)	100 (H28 年度)	100
公立へき地診療所への医師の 配置率 (%)	100 (H29 年度)	100

へき地現況図 (平成29年9月1日)



へき地医療支援体制図



参考資料1 無医地区等医療提供体制(平成26年10月)

○ 無医地区

医療圏域	市町村	無医地区名		人口	世帯数			医療提供体制	巡回診療	患者輸送事業	病院診療所往診(h26.10)	医療機関まで定期交通機関(分)		
		地区名			総世帯	高齢	車船保有					有無	手段	所要時間
東部	杵築市	小野		135	63	32	43	○	×	×	○	○	巡回車	4
		赤根		78	34	16	27	○	×	×	○	○	バス	20
	国東市	西方寺		106	51	23	34	○	○	×	○	○	バス	20
		成仏・下成仏		168	80	50	67	○	×	○	○	○	バス、徒歩	35
		藁葎		115	58	28	51	○	×	×	○	○	バス	20
		岩戸寺		127	62	38	48	○	○	×	○	○	バス、徒歩	35
		吉広		327	135	60	96	○	×	×	○	○	バス、徒歩	40
		丸小野・麻田・狭間		646	187	66	140	○	×	×	○	○	バス	20
		朝来		630	270	174	231	○	○	×	○	○	バス	20
		馬渡・橋上		104	33	17	28	○	×	×	○	○	バス、徒歩	70
姫島村	西武蔵		591	250	142	211	○	×	×	○	○	バス	25	
	稲積		88	35	12	29	○	×	○	×	○	患者輸送車	10	
中部	臼杵市	東神野		85	46	34	35	○	○	×	×	○	バス	25
		西神野		85	40	18	27	○	×	×	×	○	バス、徒歩	120
		白岩		95	38	13	30	○	×	×	○	○	バス、徒歩	110
	津久見市	四浦		478	277	169	202	○	○	×	○	○	バス	50
南部	佐伯市	大越		56	27	22	27	○	×	○	×	○	コミュニティバス、徒歩	66
		木浦		83	54	44	54	○	×	○	×	○	コミュニティバス、徒歩	26
豊肥	竹田市	宮砥		606	286	166	240	○	○	×	×	○	バス、徒歩	22
		姫岳		542	260	161	213	○	○	×	×	○	バス、徒歩	28
		小津留・塩手・飛竜野		107	43	21	40	○	×	×	○	○	バス	30
	豊後大野市	大白谷・久部		75	40	27	36	○	×	×	○	○	相乗りタクシー	50
		平石		81	36	28	31	○	○	×	○	○	相乗りタクシー	20
		大白谷・左右知		111	55	34	48	○	×	×	○	○	相乗りタクシー	25
		長谷川		291	147	89	122	○	○	×	○	○	コミュニティバス	30
		鳥屋		68	25	8	24	○	×	×	○	○	バス、徒歩	70
西部	日田市	中土師		180	104	78	104	○	×	×	○	○	バス	20
		串川町1丁目		57	27	13	13	○	×	×	×	○	バス、徒歩	21
北部	中津市	高花		65	20	10	10	○	○	×	×	○	バス、徒歩	41
		古後		479	168	47	133	○	○	×	×	○	バス	20
	豊後高田市	深耶馬		162	75	31	57	○	×	○	○	○	バス	30
屋形		182	94	46	68	○	×	×	×	○	バス	20		
夷		149	63	26	54	○	○	×	×	×	徒歩	105		
小畑		78	40	17	29	○	○	×	×	○	バス、徒歩	87		
麻生		377	183	76	168	○	○	○	○	○	バス、徒歩	60		
宇佐市	岳切・定別当		78	40	20	25	○	×	○	○	○	バス、徒歩	120	
	和田・羽馬礼		58	34	18	20	○	×	○	○	○	バス、徒歩	102	
	萱籠・小平		107	63	20	54	○	×	○	×	○	バス、徒歩	85	
合計		38	7,850	3,543	1,894	2,869	38	14	9	24	37		1,702	
平均			206.6	93.2	49.8	75.5							44.8	

参考資料2 無歯科医地区等一覧表(平成26年10月現在)

○無歯科医地区

医療圏	市町村	旧市町村	地区	人口	無医地区	
東部	杵築市	大田	朝田	668		
			田原	777		
	国東市	国見町	赤根	78	○	
			西方寺	95	○	
		国東町	成仏・下成仏	168	○	
			藁藁	115	○	
			岩戸寺	127	○	
		武蔵町	吉広	327	○	
			丸小野・麻田・狭間	646	○	
		安岐町	朝来	630	○	
	馬渡・橋上		104	○		
	西武蔵		591	○		
	姫島村	姫島村	稲積	88	○	
	中部	臼杵市	臼杵市	東神野	85	○
野津町			西神野	85	○	
			白岩	95	○	
津久見市		津久見市	四浦	478	○	
南部	佐伯市	佐伯市	大越	56	○	
		宇目町	木浦	83	○	
		鶴見町	大島	151		
豊肥	竹田市	竹田	宮砥	606	○	
			姫岳	542	○	
		直入	小津留・塩手・飛竜野	107	○	
	豊後大野市	三重町	大白谷・久部	75	○	
		清川町	平石	81	○	
			大白谷・左右知	111	○	
		緒方町	長谷川	291	○	
		朝地町	鳥屋	68	○	
大野町	中土師	180	○			
西部	日田市	日田市	串川町1丁目	57	○	
			高花	高花	65	○
				赤石	320	
		前津江村	大野	485		
			出野	209		
		天瀬町	五馬	799		
	玖珠町	玖珠町	山浦	370		
			日出生	315		
			古後	479	○	
			深耶馬	188	○	
北部	中津市	本耶馬溪町	西谷	702		
		山国町	東谷	386		
			屋形	182	○	
		槻木	394			
	豊後高田市	香々地町	夷	149	○	
			小畑	78	○	
	宇佐市	宇佐市	麻生	377	○	
			院内町	岳切・定別当	78	○
		安心院町	和田・羽馬礼	58	○	
			萱籠・小平	107	○	
計			49	13,306	37	

○無歯科医地区に準じる地区

医療圏	市町村	旧市町村	地区	人口	無医地区
中部	津久見市	津久見市	無垢島	41	○
南部	佐伯市	佐伯市	日向泊	41	
西部	日田市	日田市	月出山	47	○
		前津江村	曾家	39	○
北部	宇佐市	院内町	小野川内	47	○
		安心院町	枝郷	29	○
計			6	244	5

参考資料3 へき地診療所一覧（平成29年9月現在）

（公立）

医療圏	診療所名	所在地	病床数
東部	姫島村国民健康保険診療所	東国東郡姫島村 1560-1	16
南部	津久見市保戸島診療所	津久見市大字保戸島 880-1	0
	佐伯市国民健康保険因尾診療所	佐伯市本匠大字堂ノ間 295-1	0
	佐伯市国民健康保険鶴見診療所	佐伯市鶴見大字沖松浦 20	0
	佐伯市国民健康保険丹賀診療所	佐伯市鶴見大字丹賀浦 129-1	0
	佐伯市国民健康保険大島診療所	佐伯市鶴見大字大島 717-5	0
	佐伯市国民健康保険西野浦診療所	佐伯市蒲江大字西野浦 2-1219-3	0
	佐伯市国民健康保険名護屋出張診療所	佐伯市蒲江大字丸市尾浦 601	0
	佐伯市国民健康保険米水津診療所	佐伯市米水津大字浦代浦 1239-2	0
	佐伯市国民健康保険大入島診療所	佐伯市大字久保浦 1059-19	0
西部	日田市立上津江診療所	日田市上津江町川原 3933	0
	日田市立東溪診療所	日田市天瀬町合田 1994-1	0
	飯田高原診療所	玖珠郡九重町大字田野 1271	0
北部	中津市国民健康保険山移診療所	中津市耶馬溪町山移 3813-1	0
	中津市国民健康保険津民診療所	中津市耶馬溪町大字大野 950-2	0
	中津市国民健康保険槻木診療所	中津市山国町大字槻木 1075	0

（16診療所）

（民間）

医療圏	診療所名	所在地	病床数
東部	はるかぜ醫院	国東市国見町大熊毛字花開 182	0
	友岡医院山浦出張診療所	杵築市山香町大字山浦 2672	0
中部	直耕団吉野診療所	大分市大字奥 31	0
	秋吉医院	由布市湯布院町下湯平 90-2	0
南部	神宮医院	佐伯市宇目大字小野市 2884-3	3
	花井医院	佐伯市蒲江畑野浦 224	0
豊肥	伊藤医院	竹田市直入町大字長湯 7985-5	19
	久住加藤医院	竹田市久住町大字久住 6268	16
	あさじ町クリニック	豊後大野市朝地町朝地 906-7	0
	筑波クリニック	豊後大野市大野町大原 981-1	0
	社会医療法人関愛会清川診療所	豊後大野市清川町砂田 1877-3	0
西部	渡辺医院	日田市大山町西大山 3447-4	4
	渡辺医院前津江出張診療所	日田市前津江町大野 2177-1	0
北部	横井医院	中津市本耶馬溪町落合 1011	0
	平田診療所	中津市耶馬溪町大字平田 1518-1	0
	佐藤医院	豊後高田市浜町 672	0

（16診療所）

参考資料 4 ヘキ地医療拠点病院一覧（平成 29 年 9 月現在）

医療圏	病 院 名	所 在 地	病床数
東 部	国東市民病院	国東市安岐町下原 1456	208
	杵築市立山香病院	杵築市山香町大字野原 1612-1	138
	国家公務員共済組合連合会新別府病院	別府市大字鶴見 3898	269
	大分県厚生連鶴見病院	別府市大字鶴見 4333	230
中 部	社会医療法人恵愛会大分中村病院	大分市大手町 3-2-43	260
	大分県立病院	大分市大字豊饒 476	578
	社会医療法人財団天心堂へつぎ病院	大分市大字中戸次字二本木 5956	188
	社会医療法人関愛会佐賀関病院	大分市大字佐賀関 750-88	89
	臼杵市医師会立コスモス病院	臼杵市大字戸室字長谷川 1131-1	202
	津久見市医師会立津久見中央病院	津久見市大字千怒 6011	120
南 部	独立行政法人地域医療機能推進機構 南海医療センター	佐伯市常盤西町 11-20	260
	社会医療法人小寺会佐伯中央病院	佐伯市常盤東町 6-30	149
	社会医療法人長門莫記念会長門記念病院	佐伯市鶴岡町 1-11-59	250
豊 肥	豊後大野市民病院	豊後大野市緒方町馬場 276	199
	社会医療法人社団大久保病院	竹田市久住町大字栢木 6026-2	136
	竹田医師会病院	竹田市大字拝田原 448 番地	156
西 部	大分県済生会日田病院	日田市大字三和 643-7	204
北 部	中津市立中津市民病院	中津市大字下池永 173	250
	宇佐高田医師会病院	宇佐市大字南宇佐 635	110
	医療法人新生会高田中央病院	豊後高田市新地 1176-1	117

（ 20 病院）